

割裂方向制御グラウチング工法

割裂方向制御グラウチング工法は、未固結層や軟岩地盤において、浸透流に直交する方向に、鉛直の割裂グラウト脈を発生させることで地盤変位をおさえ、効率的に止水膜を形成させる工法です。

地盤内に存在する様々な方向性を有する割れ目や弱部も、形成された鉛直割裂割れ目からグラウトが供給され確実に止水されます。

割裂方向制御グラウチング工法の特徴

鉛直スリット管からの注入により効果的に鉛直止水膜を形成します。

(図1、図2参照)

鉛直割れ目に沿って注入することで地盤の浮上り変位を抑制します。

注入孔内に鉛直スリット管を設置する以外は従来のグラウチングと同様、小規模機械での施工が可能です。(図3参照)

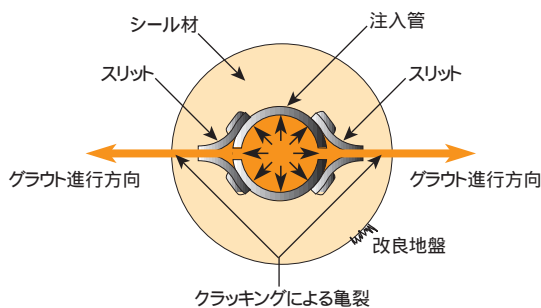


図2 注入管の構造

図1 割裂方向制御グラウチングの注入概念

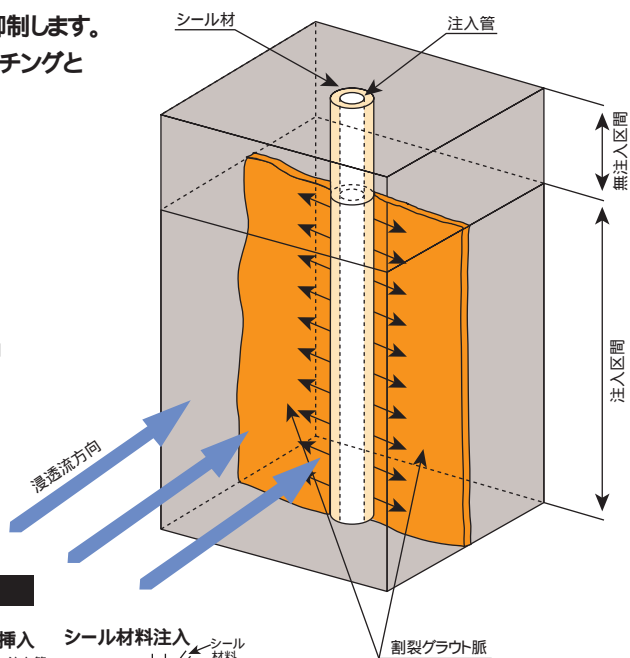
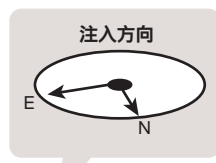
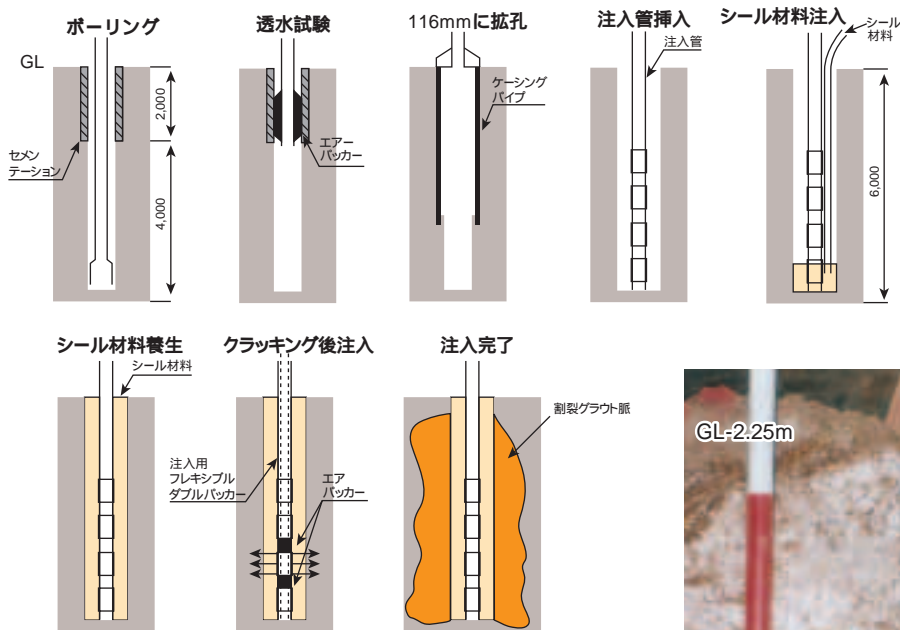


図3 施工手順



本技術には以下の特許権が設定されています。

特許第 2728363号

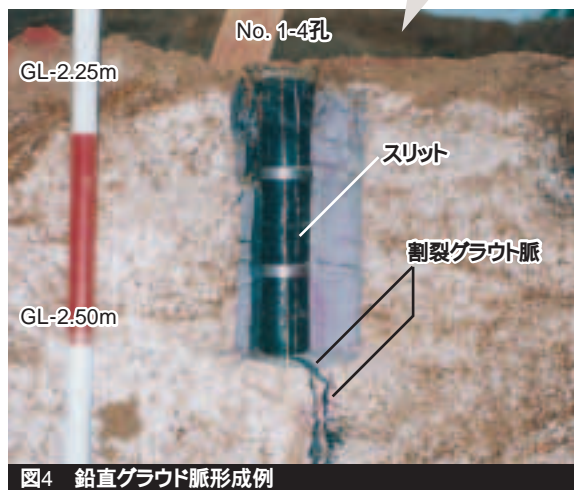


図4 鉛直グラウト脈形成例